

## 梨新品種「加賀しずく」の産地交流会を開催

南加賀農林総合事務所

平成28年9月6日（火）、加賀しずくプロモーション実行委員会主催のもと、片山津温泉総湯の2階にある「まちカフェ」にて、県育成の梨新品種「加賀しずく」の産地交流会が開催され、「加賀しずく」の命名者である同市片山津温泉の理容師高谷さんへの果実の贈呈式も行われました。

産地交流会では、加賀市内の一般消費者や観光業者ら約30人を招待し、地元の梨生産者も同席して、生果実のほか「加賀しずく」を使って試作されたシフォンケーキ、ゼリー、ジュースを紹介・試食しながら、新品種の将来展望などについて語り合いました。

参加者の食味評価は上々で期待の声が寄せられた一方、生産量が増えてくるまで4～5年の育成期間が必要であるとの話を生産者から聞いた際には驚きの声も上がりました。

加賀市は県内最大の梨産地ですが、後継者不足等により栽培面積が減少傾向にあるため、南加賀農林総合事務所では、「加賀しずく」を産地再興の切り札とし、JA梨部会と連携した栽培技術指導を行い、生産拡大を図っています。

本年は、平成26年春に配布された苗木の一部が果実をつけはじめ、従来の木に接ぎ木を行い増やしたものと合わせ、約2,000個の果実を収穫することができ、これら果実は試食宣伝、PRイベントなどに使用されました。

現在、デビューに向けて県では統一の出荷規格の基準づくりや集荷体制づくりなどを支援しているところであり、平成30年からの本格出荷を予定しております。

南加賀農林事務所では、今後も生産者、JA等と連携しながら、「加賀しずく」が県民の皆様にも愛される品種となるよう、生産拡大およびPR活動に取り組んでいきたいと考えています。



「まちカフェ」での産地交流会



「加賀しずく」を使ったスイーツ

問い合わせ先：南加賀農林総合事務所 農業振興部  
(0761-23-1703)